
Alice in Fairy tale

鶴橋ユウ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Alice in Fairy tale

【Nコード】

N9682C

【作者名】

鶴橋ユウ

【あらすじ】

自分より優れている双子の兄、アッシュ。その存在が疎ましく、自分が情けないと思うルーク。そんなルークの元に金のうさぎが現れ…。不思議の国のアリス（歪みの要素も少し入っています）パロ設定。金のうさぎを追い掛け、色々な童話の世界にトリップする話です。

プロローグ（前書き）

この話はテイルズシリーズのアビスを元にした模造作品です。

作品のイメージが崩れるのが嫌だと嫌悪される方は読まない事を勧めます。

又、この作品にはBL要素（ガイ×ルーク）が含まれています。BL・同人ってなに？と思われる方、また嫌いな方は読まないで下さい。

小説はルーク視点で進めていきます。

パロでパラレルな設定です。

以上の事を踏まえてお読み下さい m () m

プロローグ

ルーク

俺らのルーク

さあ

共に捜そう

『プロローグ』

家の庭の大きな大木。一人の少年がそれにもたれ掛け、倒れる様に座り込む。

上を見上げると青々と雲一つ無い、綺麗な晴れ空。少年は憎らしく睨み付ける。

ふいに風が肩まで伸ばされた髪を撫でた。

赤い赤いファブレ家の証。

忌忌しそくに眺めた後、少年は深いため息を洩らす。

ファブレ家（大企業の大金持ちの家柄）は双子の男児を授かった。名をアッシュとルークと名付ける。双子はスクスクと育ち、やがて大人たちの目がその二人の優劣をつけ始めた。

アッシュは文武両道で尚且つ、確固たる意思を持ち合わせ、人を従わせる資質と、天性を備えていた。

それに比べ、ルークは世間一般的には全体に優れてはいるものの、周りはアッシュと比べたがる。

『お兄さんはとても賢いのに、弟の方は…ねえ。』

その一言がどれだけルークを傷付けているのか誰も知らない。その内、両親までもルークを見放した。

同情か義務感が、必要以上に昔からアツシユはルークを庇っていた。

その行為が只、ルークの羞恥心を煽るだけだと気付かずに。

アツシユより全てに劣っているルーク。何もかも完璧にこなせるアツシユ。

アツシユが居れば全ては収まる。

「俺…存在する意味…

有るのかなあ…。」

ぼつり、諦め混じりに呟かれた言葉。溜めていたものを吐き出すと、静かに瞼を落とす。

暫くして、葉のすれる音が耳に触れ、重たい瞼を持ち上げる。

視界に写ったのは、いつもと変わらぬ庭の風景の中、見たことのない金のうさぎがぼつり。何度かパチパチと目を見開いたり、擦ったりするが、そこに変わらず金のうさぎは居た。幻覚ではない。

穏やかな青い瞳と、視線がぶつかる。

「ルーク。」

うさぎが俺の名を囁き、ゆっくりと動き出した。

「まっ…待って…!」

何故自分の名を呼んだのか、無意識に身体は揺れる金の後を追いつけていた。

庭の奥にある小さな穴。そこにうさぎは滑りこんで行った。

(こんな穴…あつたっけ?)

疑問に思いながらも、初めて抱いた好奇心に胸を踊らせ、ルークはその穴に飛び込んだ。それが全ての始まりの合図

ルーク
俺らのルーク

ああ…
やっと見付けた

さあ
次はルークの番だ

プロローグ（後書き）

消えるかもだし、連載するかもな小説です。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9682c/>

Alice in Fairy tale

2010年10月16日14時14分発行